



シーズ

水循環式バイオトイレ『SMilet（スマイレット）[®]』は平常時も、災害対策・被災地への移設支援にも役立つ、自己完結型の移動式コンテナトイレです。上下水インフラへの接続・汲み取りが不要で、100Vコンセント接続・初期給水後すぐに見える『いつでも どこでも 誰もが 笑顔になれる』快適な水洗トイレ

当社が提供するスマートシティサービス（概要）



【取組分野】 ③防災 ④インフラ維持管理 ⑤観光・地域活性化

【サービス名】 水循環式バイオトイレ、自己完結型移動式コンテナトイレ

【都市の課題解決】

- 災害発生時に上下水インフラが被災してしまい、普段使っているトイレが使用できなくなる事態が多く発生しており、避難生活における大きな課題となっています。
- 上下水インフラが更新時期を迎えても、予算不足等により整備に着手できない地方自治体も多く、将来的な水資源確保に対する大きな懸念が生じています。

【目標実現のためのサービス】

- 水循環式バイオトイレ「SMilet（スマイレット）[®]」は上下水道に接続することなく普段と同じ水洗トイレを利用し続けられるので、災害時や上下水インフラが整っていない自然公園、建設現場などにおけるトイレ環境の改善に寄与します。
- 小型クレーン付のトラックで積込・運搬・設置が容易に出来る構造・寸法・重量であるため、防災拠点に設置して平常時から利用することも、災害時にそのまま使い続けることも、被災地へ移動して快適な水洗トイレを提供することも可能です。
- 汚水処理槽で微生物処理を行った処理水を、貯水槽内で電気分解処理により殺菌・脱色することで、安全・安心・快適なトイレ洗浄水の循環利用を実現。大腸菌ゼロで嫌な臭いや害虫の発生もありません。（水は無色ではありません）
- SMilet 独自技術の蒸発処理槽は、1日100回まで余剰水を蒸発処理できるため、平常時利用において汲み取りなどの手間・費用負担がほとんどありません。また、余剰汚泥も自動的に蒸発・減容化処理しているので、浄化槽のように毎年必ず汲み取りを行う必要がありません。



技術を用いて解決する都市・地域課題イメージ

- 平常時は防災拠点や公園などで常設使用、災害時は被災地へ移設して活用
- 山中の自然公園や離島、遺跡公園などインフラが整備できない場所への設置
- SMiletのブロックチェーン化でインフラの更新なく地域の衛生的な水環境を維持



当社が提供するスマートシティサービスのアピール



【アピールポイント】

上下水インフラ不要で移動や設置も簡単な水循環式バイオトイレ『SMilet（スマイレット）』は環境負荷の少ない、防災対策にも貢献する移動式コンテナトイレです。



地域におけるサービスの導入実績



導入事例①：鹿児島ふれあいスポーツランド



導入事例②：川崎港臨港道路東扇島～水江町線主橋梁部上部工事(その3)



導入及び運用コスト

【今後の導入予定】

- 国土交通省地方整備局発注「道の駅」移動式コンテナトイレ 各地へ2025年度設置

【導入・運用想定コスト】

- 販売価格：トイレ2台一体型モデル標準販売価格1,600万円（見積は販売店より提出、税抜き）
- 定期点検：年1回、10万円（交通費・部品交換代別途、税抜き）
- 遠隔監視サービス：年間10万円（不具合検知時メール発報、通信費別途、税抜き）
- アフターサービス：現地訪問対応10万円/回（交通費、部品交換代別途、税抜き）

サービス導入時に地方公共団体に求めること

- 水循環式バイオトイレ「SMilet（スマイレット）®」設置において、国住指第1551号（平成16年9月13日）における『随時かつ任意に移動できる仮設トイレ』として、建築基準法第2条第1号に規定する建築物には該当しないものとしていただきたい。
（災害発生時に被災地へ速やかに移動する際、基礎への緊結は障害となる為）

その他

- 「SMilet（スマイレット）®」は災害発生時、容易に被災地へ移動・設置して使える快適な水洗トイレであり、国土交通省道路局が令和6年4月に公表した「道の駅」における高付加価値コンテナ活用ガイドラインの条件を満たした、平常時と災害時対策どちらにも有用な移動式コンテナトイレです。



問合せ先

担当部局名	担当部局 電話番号	担当部局 メールアドレス	該当ホームページ
事業創生本部 事業推進部 バイオトイレ事業グループ	03-4582-3115	SMilet@eb.smcon.co.jp	https://www.smcon.co.jp/service/biotoilet/



シーズ

地域課題である地域温暖化対策を環境負荷の小さい水上太陽光発電でクリーン電力を地産地消し地域との共生を図ります。

当社が提供するスマートシティサービス（概要）



【取組分野】②エネルギー、③防災、⑧環境

【サービス名】水上太陽光発電事業

【都市の課題解決】

- 地球温暖化対策としてグリーン電力の確保を実現します。

【目標実現のためのサービス】

- 水上太陽光発電は、使用されていない水上のスペースに新たな発電設備を設置可能です。
- 農業用ため池、遊水池、工業用水池、貯水池、湖など、様々な場所に導入可能です。
- 造成工事に伴う森林伐採や地盤改良の必要がないため、施工に伴う環境負荷が少なくなります。
- 地上設置に比べ周辺植物の生長による日照への影響が少なく、草刈り等のメンテナンスが不要です。
- 停電時の非常用電源としてレジリエンス強化に貢献します。

【水上太陽光発電のメリット】

水面の有効利用

環境に優しい

水面冷却効果

遮熱・遮光の効果

優れた施工性

影の影響が少



技術を用いて解決する都市・地域課題イメージ

- PPAサービスでご提供します。
- 自治体が保有する水面に、当社が水上太陽光発電所を建設・運用し、発電した電力を売電します。
- 地域内の公共空間（池）を有効活用することでエネルギーの地産地消が実現します。
- 自治体は初期投資負担なく長期にグリーン電力を調達することができます。
- 契約期間（20年）は電力単価の変更（原則）なく、財政負担の軽減を図ります。
- 太陽光発電設備の用地確保が容易です。（陸上では、用地確保が厳しい）
- 災害時には、非常用電源として活用できます。



当社が提供するスマートシティサービスのアピール



【アピールポイント】 発電設備の設計・施工、発電所の運営～電力供給までワンストップでのサービス提供いたします。



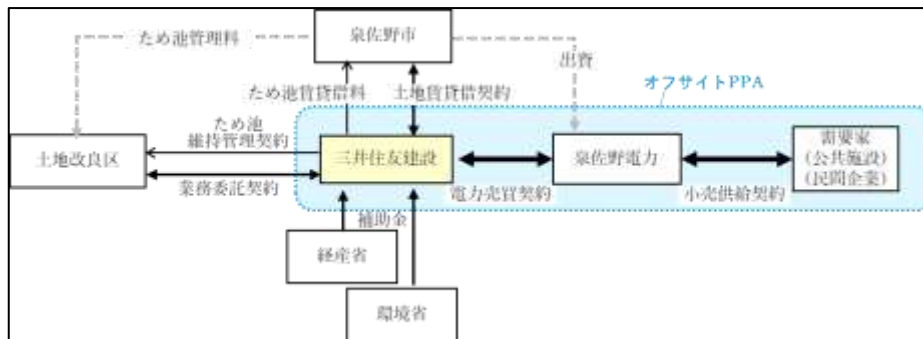
地域におけるサービスの導入実績



導入事例①：泉佐野市におけるオフサイトコーポレートPPA事業

- 泉佐野市長滝第1/第2水上太陽光発電所
 発電出力：DC:2,797kW AC:2,115kW
 売電：オフサイトPPA
 補助金：経産省 需要家主導型補助金
 需要家：民間企業
- 泉佐野市郷之池水上太陽光発電所
 発電出力：DC:1,932kW AC:1,227kW
 売電：オフサイトPPA
 補助金：経産省 ため池補助金
 需要家：公共施設

【事業スキーム】



長滝第1/第2水上太陽光発電所



郷之池水上太陽光発電所

導入及び運用コスト

- 契約期間（20年間）原則電力単価は変更しません。
- オンサイトPPA契約の場合、燃料調整金、再エネ賦課金、託送料などの課金はありません。
- 「環境価値」が付帯された電気を利用することができます。(地域内で発電し消費することで、自治体のCo2削減に貢献します。)
- ため池等の所有者様には、弊社より「ため池賃貸借料」をお支払します。
- ため池等の維持・管理を弊社(発電事業者)から請け負って頂く土地改良区様、水利組合様等には、「ため池維持管理料」をお支払いいたします。

サービス導入時に地方公共団体に求めること

- 地方公共団体所有のため池を賃貸借して頂くことにより、補助金の獲得やより補助率の高い補助金の申請が可能になることもあります。
- 脱炭素先行地域や重点加速化事業に採択されている、若しくは予定があれば、その計画中に水上太陽光発電事業を織り込んで頂くと、事業開発がしやすい場合があります。
- 地域内の需要家を確保する必要があります。

その他

- 経済産業省：特殊な設置形態の太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン2023年版
- 農林水産省：農業用ためい池における水上設置型太陽光発電設備の設置に関する手引き

準拠



問合せ先

担当部局名	担当部局 電話番号	担当部局 問合せフォーム	該当ホームページ
事業創生本部再生可能エネルギー推進部	03-4582-3115	https://www.smcon.co.jp/contact-floating/	https://www.smcon.co.jp/service/pv-float/